



12/21 上士幌中女子卓球部全道出場

第33回道新杯北海道中学選抜卓球大会兼第19回全国中学選抜卓球大会予選へ出場する上士幌中学校女子卓球部の生徒が教育委員会を訪れ、全道大会への意気込みを語ってくれました。

出場する選手は、「十勝を代表して戦うので、自分の力を出し切り、恥ずかしくない戦いをしたい」と抱負を話しました。

※写真前列左から、飯島優花さん、佐藤ほのかさん、菅原乙葉さん、菅原朱里さん、鳥本花奈さん 後列左から、鈴木彩華さん、杉山友莉さん、清水琴葉さん、中村董さん、杉山詩歩さん

12/26 坂田寛さん、「旭日単光章」受章

長年、上士幌町議会議員として貢献したことにより、坂田寛さんに「旭日単光章」が十勝総合振興局の坂部副局長より伝達されました。

坂田さんは、「叙勲をいただいて感激しています。今後も町のためになるようなことをしていきたい」と話されました。



1/10 上士幌中スキー部 前田さん、牧野さん全道出場

北海道中学校体育大会第50回北海道中学校スキー大会アルペン競技に出場する上士幌中学校2年の前田滉太さん、牧野あみさんが教育委員会を訪れ、大会への抱負を語りました。

前田さんは「思い切りよく滑り、良いタイムを出したい」と話し、牧野さんは「支えてくれている方への感謝の気持ちを忘れずに大会に臨みたい」と話してくれました。



1/11 バイオガスプラント竣工式

1月11日、家畜のふん尿処理を目的に昨年春に着工した「上士幌集中バイオガスプラント」の竣工式が行われ、本格的に稼働を開始しました。

竣工式のなかで、上士幌町資源循環センターの高木聡社長は「農畜産業と町全体の発展に貢献していきたい」と話されました。



第51回北部方面スピードスケート競技大会(1月13日)

12・1月の まちのわだい



12/18 認定こども園へおもちゃ寄贈

音更・士幌・上士幌の森林組合が合併して10周年を迎えた十勝大雪森林組合(山本良二代表理事組合長)より、記念事業の一環として地域の子どもたちへの木育推進のため認定こども園へ木製玩具が寄贈され、小堀教育長より山本組合長へ感謝状が贈られました。



12/21 手打ちそばを堪能

12月21日、上士幌福寿協会の「こまくさ苑」と「まつば」の利用者が手打ちそばを味わいました。

白石馨さんと山田忠雄さんが例年施設の高齢者へ手打ちそばを振舞っており、今年度は施設の職員が寄付したそば粉を使って作られました。

食べた方からは「風味があっておいしい」といった感想が聞かれました。

役場の新人紹介(地域おこし協力隊員)

- ◆名 前：沼田 直也(46歳)
- ◆職 種：観光誘客組織づくり推進員(商工観光課)
- ◆出身地：東京都

上士幌町の皆様はじめまして。千葉県市川市から家族3人で参りました沼田です。上士幌町のお役に立てるよう頑張ります。これから宜しくお願い致します。



# 町民(文)芸

## 川柳

豆まいて痴呆の鬼を追いはらう

坂田 いさ子

## 短歌

大学を終へる孫は逞しく祖父や伯父と杯交はす  
息ら帰り煩はさる事もなくテレビ観戦駆伝を見る  
たちまちに暮は迫りぬ来れぬといふ子を憶ひるつけふも昏れたり  
スリッパの裏に貼りつきたる髪をとりて捨てたり松の三日を  
初春の鉢植えのつつじ淡いピンクの花祝ふ如満開に咲く  
初春の九十歳過ぎて息子らと新年をむかへて心安らぎぬ  
新しき朝の先に導かれペンを執り出し動き始める  
年始め集まる身内の顔を見て会えなくなりし一人を思う  
独身のバレンタインはいと楽し相手なくとも自分に幸あれ  
「しらかば」へ行くのを楽しみ家にゐる正月休み留守番をする  
毎日の仕事として「白樺」の雪はねをする汗をかきつつ  
暖かき家を出てくるカギかって「わか」の広いホール掃除する

小 鈴 高 米 松 尾 高 本 石  
松 木 木 森 田 野 木 間 川  
義 誠 真 理 よ し 慶 栗 裕  
美 豊 也 弓 恵 乃 子 風 子



お正月に食べ過ぎて体重が増えていませんか?私はズボンのウエストが少しキツイような気が……

体重を減らし、健康になるのが今年の目標です。めざせ!アクティブ系男子!!ふれあいプラザだよりにて体重とカロリーのコラムを扱っていますのでぜひご覧ください。…M

十勝を代表する名物料理『豚丼』。今ではたくさんのお店があって、家庭で作って食べる方も多いですね。帯広で昭和の初期に大衆料理として考案されたようですが、シンプルながらもあの甘辛いタレが食欲をそそり…ときどき無性に食べたくなります。でも、肉は食べたのになぜ十勝で『もつ』は根付かなかったのでしょうか。もつ煮やもつ焼き、これもまた美味しくて…K

がみしほろ 3月号は 2月23日(金) 発行予定

## 平成29年 12 月末現在の人口

男性	2,428人(+11人)
女性	2,560人(+13人)
人口	4,988人 (+24人)
世帯数	2,503世帯(+11世帯)

## 寄付 (12/14~1/15)

- 12月19日、藪根茂様が福祉の振興のため500,000円を寄付されました。
- 12月21日、安井測量設計事務所様が町の振興のため100,000円を寄付されました。

## 平成29年度 ふるさと納税寄付金

12月分	27,817件
累計	575,293,079円
累計	70,775件
累計	1,339,999,287円

※全国より本町に篤志寄付の応援をいただき心より感謝を申し上げます。

# 地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE:発達支援センター × プロの錬金術!

記:子ども発達支援推進員 二宮 翼



こんにちは。発達支援センターの二宮です。

今回は、コラボレーションを行っている事業についてお話したいと思います。そもそも発達支援センターは、上士幌町教育委員会子ども課に所属しているのですが、事業によっては各事業のプロの方のお力を借りる機会があります。調理を主とした活動では、パピリカの店長井上さんにご協力をいただいたり、農林課の農業技術研究センターで味噌作りを行ったり、ふれあいプラザの栄養士さんと調理実習をしたこともあります。

遊びの活動では、国立日高青少年自然の家の方に活動をしていただくことや、生涯学習課にアウトドア活動の協力をさせていただくこともあります。こういった、各所の専門性を組み合わせて子どもたちにより質の高い活動を提供します。子どもたちに本物を体験してもらい、それが将来に生きるものとなれば、それがこの先この町を担う「ヒトづくり」につながります。まさにアクティブラーニングの基盤です。

それにはもちろん、私たちが日常で本物を感じることでできる「カラダづくり」が重要になります。それでは、今日もげんきいっぱい子どもたちと遊んでいきます!!



## 上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高

12月28日(木)  
餅つき大会



▲餅をつく生徒

12月28日(木)に玄関ホールで餅つき大会が行われました。初の試みで、発案者は本校卓球部の顧問、白戸貴大先生でした。

餅つきが行われた理由について白戸先生は「偶然、女子バスケットボール部顧問の相場和之先生の実家がもち米農家で、卓球部女子生徒の自宅に臼と杵があったからだ。思いつきで行ったイベントとしては、大成功だったと思う」と感想も述べてくれました。

参加した部活動は卓球部、女子バスケットボール部、ソフトテニス部でしたが、先生方の好意により、登校していたほとんどの生徒に抹茶、あんこ、きな粉の3種類の餅が振舞われました。



▲餅を分ける部員たち

また、餅つきを体験した生徒からは「恥ずかしかった」や「臼と杵での餅つきは初めてだったのでいい経験ができた」との声が上がりました。

完成した餅は、つきたてということもあり、柔らかく美味しかったです。

文責 渡邊 のぞみ

Monthly Kamishihoro High-School